

国産食材の消費を喚起

食品事業者へ支援も

農水省

農水省は、今月17日から「国産食材モリモリキャンペーン」を開始した。新型コロナウイルスの感染拡大により、学校給食や飲食店等向けの食材需要が減少しているのを受け、国産農林水産物の家庭での消費を促すもの。

キャンペーン第1弾として、野菜をテーマにした歌で子どもに人気のお笑い芸人小島よしお氏と、料理芸人のクック井上。氏を応援大使に任命。料理作りを撮影し、同省公式のYouTubeチャンネル「BUZZM

AFF（バズマフ）」で公開する。そのほか、JAGグループの協力を得て、国産食材を活かした手軽に作れるメニューや、国産農林水産物の魅力を伝える動画も制作する予定。

また同省では、給食の停止で納入予定がキャンセルとなった野菜・果物等の代替販路の確保にも取り組む。通販サイト「う

まいもんどットコム」に、「食べて応援学校給食キャンペーン」の特設サイトをオープンし、在庫と なっている食品・食材を販売できるようにした。

サイトの運営等の経費を支援するとともに、送料を無料化するための支援も行う。特設サイトは <https://ad.umai-mom.com/kyushoku.html>